

セミナー参加報告

森林総合研究所より

日本木材学会ダイバーシティ推進委員会シンポジウム 民間企業のダイバーシティ

【日時】2022年3月22日(火) 13:30~14:30
 【場所】オンライン開催 (Zoom ウェビナー)
 【主催】日本木材学会 ダイバーシティ推進委員会

このシンポジウムは学会活動の一環として、ダイバーシティ推進をそれぞれの組織ごとにもう取り組んでいるかについて、情報交換することを目的に開催されました。木材関連3企業、大建工業、住友林業、王子ホールディングスそれぞれの代表者が、会社紹介に始まりダイバーシティの考え方、推進への取組、問題点などを取り上げ、およそ20分ずつ講演を行いました。

講演後には数件の質疑応答があり、予定の1時間では収まりきれないほど興味深い内容に終始しました。なお、本シンポジウムの詳細については森林総研ダイバーシティ推進室のウェブサイト(下記)をご覧ください。

https://www.ffpri.affrc.go.jp/geneq/chishiki/outside_sympto_archives/sankahoukou/2022/0322nihon_mokuzaigakkai.html



第133回日本森林学会 学会企画

森林学会におけるダイバーシティ ～多様な立場に寄りそえる学会を目指して～

【日時】2022年3月29日(火) 12:15~14:15
 【場所】オンライン開催 (Zoom ウェビナー)
 【主催】日本木材学会 ダイバーシティ推進委員会

このシンポジウムは森林学会に属する様々な立場の会員が、より一層気持ちよく学会としての活動を行えることを目指して開催されました。森林総研ダイバーシティ推進室で以前室長を務めた高山範理氏も主催者の一人として参加しており、事例報告とパネルディスカッションを通じて、キャリア形成、男性育休など様々な課題が取り上げられました。

なお、詳細については森林総研ダイバーシティ推進室のウェブサイト(下記)をご覧ください。

https://www.ffpri.affrc.go.jp/geneq/chishiki/outside_sympto_archives/sankahoukou/2022/0329shinrin_gakkai.html



出産・育児・介護 職員のアレコレ体験記

その5 伝えにくいのが一番つらいことかもしれない

昔から生理がきつかった。出血量も多いが、痛みがひどく、痛み止め無しの生活は考えられない。ひどいときは、電車で倒れて急病人として運ばれたこともある。

上司が男性の場合、生理休暇の取得希望は本当に言いづらいし、女性でも症状が軽い人にはなかなか理解してもらえず、なおのこと言いにくい。だから、本当は「生理」なのに「体調不良」として、もっぱら有給休暇で処理してきた。

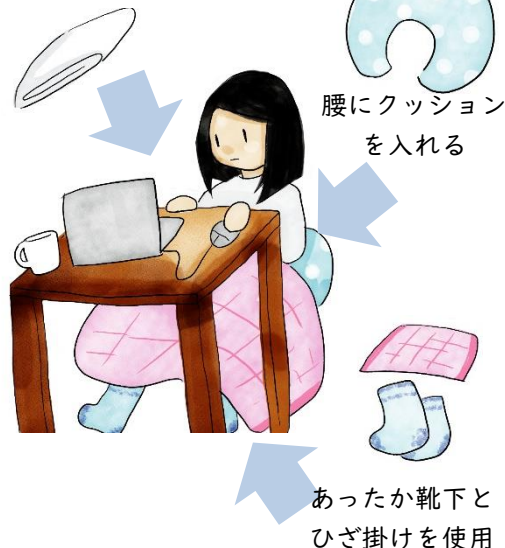
しかし、転機はやってきた。妊娠の際に子宮に異常が見つかり、ひどい痛みの原因がやっとわかった。私より痛みに弱いのではなく、本当に人より痛み（症状）がひどかったのだとわかり、胸の奥でつかえていた何かが取れていくのを感じた。それ以来、私は生理を理由として休暇を取得している。

生理休暇は法律で保障されているとはいえど、その申請は人によっては心理的なハードルが高かったりする。そのハードルが少しでも下がるように、生理や生理休暇について、男女問わず、理解が進んでほしいと、私は思う。

(30代女性の体験談)

このフル装備でなら、いけそうな気がする

バスタオルを敷く



腰にクッションを入れる

あったか靴下とひざ掛けを使用

生理休暇以外に、生理在宅勤務があったらいいのにと思う

生理休暇とは

労働基準法（第68条）で定められた、生理日の就業が著しく困難な女性に対する措置。生理日の就業が著しく困難な女性とは、生理日において下腹痛、腰痛、頭痛等により就業が困難な女性をいい、従事している業務を問わず休暇を請求することができます。

半日や時間単位での取得も可能で、取得日数の制限はありません。

ただし、有給か無給であるかは各企業の判断によります。また、企業によって、PMS（月経前症候群）等にも生理休暇を認めていることもありますので、お勤め先にご確認ください。

参考）厚生労働省. 女性労働者の母性健康管理等について

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/koyou_roudou/koyoukintou/seisaku05/index.html

